

令和3年度 8月 明和営農センターだより



平素は、農協事業に格別なるご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

梅雨明けしてから高温が続く、農作物の管理作業で大変ご苦労されたと思います。本当にお疲れ様でした。早いもので、4月～5月にかけて田植えしていただきました稲が間もなく収穫時期を迎えようとしています。まだまだ猛暑日は継続すると予測されますので、体調の方には十分注意していただいて、作業を実施して下さい。

お米のJA出荷にご協力下さい！



お知らせ

○令和3年産米の集荷について

いよいよ皆様から丹精込めて栽培いただいた令和年産米の収穫時期となりました。

1袋でも多くJAに出荷いただきますよう、宜しく願い申し上げます。また、出荷の際には栽培履歴の提出もお願いいたします。

尚、集荷日程・概算金等は、後日出荷契約者の皆様へ直接配布させていただきますので、ご確認くださいませよう、宜しくお願い致します。

○住宅の修繕・リフォーム

JAでは、住宅の修繕・リフォームも実施しておりますので、何かございましたらお気軽にお声かけいただきますよう、宜しくお願い致します。



○床下無料点検実施中

暑い時期は、白蟻の繁殖時期となっています。羽アリを見かけましたら危険信号になります。

JAでは、無料で床下調査を実施しておりますので、お気軽にご相談下さい。



明和営農センター → ☎0596-52-3047

○明和営農センター8月～9月の営業時間について

平日 → 午前8時45分～18時

土日祝日 → 午前8時45分～正午（8月9日まで）

土日祝日 → 午前8時45分～17時（8月14日から9月20日まで）

土日祝日 → 午前8時45分～正午（9月23日以降）

※お間違えのないようよろしくお願い致します。

裏面には、営農指導員だよりを掲載しておりますので、ご覧下さい。



営農指導員たより



今月は、稲刈り、秋冬野菜の播種等の時期になってきます。日差しの強い炎天下での作業は体調管理に十分気を配り、無理の無いよう作業に努めてください。

水稻



今年の稲の生育は、4月中下旬に移植された圃場で、初期の生育遅れが見られました。6月上旬は晴れの日が多く、気温も高くなり、一気に分けつが増えましたが、例年より莖数が少なくなっている圃場も見受けられます。梅雨時期が長かった等の影響により葉いもちの発生が多く、一部の圃場では、穂いもちの症状も見受けられます。出穂期は平年に比べ2日~3日早くなっており、生育も平年に比べやや早くなっていますが、稲刈り前の落水は、土壌条件にもよりますが出来るだけ遅らせ登熟障害を受けないように気をつけてください。落水が早いと未熟粒・胴割粒の発生を助長します。湿田を除き一般水田では、収穫7日前が落水時期の目安です。落水後も田面が乾くようなら走水をおこない登熟を促しましょう。

収穫時期の目安 コシヒカリの場合、4月下旬田植えで出穂期後33~35日で、穂の基部に緑色もみが3~4粒程度のころ頃が、収穫適期です。

収穫・乾燥調整の留意点

- 胴割米防止 ⇒ 早期落水・刈り遅れ・高温急速乾燥は厳禁！
- やけ米防止 ⇒ 収穫後4時間以内に乾燥機へ投入！！
- 適正水分 ⇒ 乾燥調整は14.5%！！！！
- 早刈り厳禁 ⇒ 青米・小米が多くなり等級の低下・収量が減少します！！！！



台風対策(露地野菜編)



これからの時期は台風が襲来しやすくなります。今年度は現在までの台風発生数が少なく今後の発生数が例年より多くなることが懸念されます。事前に下記の対策をしておくことで被害を軽減できますので、参考にしてください。

- 冠水や浸水の恐れがある圃場は、排水溝の雑草や土砂等を取除き水落部分を作っておく。
- 播種直後のものやキャベツ等の苗床は、寒冷紗をべたがけして風で飛ばされないよう固定する。
- 幼苗期のものは、土寄せ・土入れを行い株の揺れを防ぐ。
- 果菜類は、支柱の補強を行い収穫が済んだ側枝や不要な枝や蔓を取除く。または、畝の上に倒し防風網や寒冷紗等で押さえ台風通過後に元に戻す。
- ☆ **台風通過後は**、速やかに圃場排水を行い、ベタがけ資材等を除去し付着した泥等は洗ひ流し薬剤防除をする。
- ☆ 株元が露出したり土壌が固まっていたら、天候の回復を待って株元へ土寄せを行い、全体を軽く中耕し土壌の通気性を良くする。
- ☆ 豪雨により肥料の流亡が考えられる場合は、速効性の肥料を追肥し、草勢の回復を図る為に薄めの液肥を葉面散布する。

肥料・農薬など栽培に関するお問い合わせは

明和営農センター 52-3047 または 営農指導員へご相談ください。

